

❖❖2019年度第22回再試験(2020/3/8実施)の出題について

《出題傾向》

・制度に関する総論や保険者、法の条文など定番の出題が多い一方で、3年ごとに見直される介護保険事業計画に関する出題がローテーション的に出題されていました。細かい部分での出題内容では「先取優先」が挙げられます。事例問題も、介護支援専門員の倫理事項やケアマネジメントの基本が理解できれば、比較的容易に溶ける内容でした。

❖❖出題内容とポイント(2019年度第22回再試験)		
介護支援分野		
	テーマ	ポイント・キーワード
1	介護保険制度(総論)	被保険者期間、給付種類、給付率、公費負担、法定代理受領、現物給付
2	介護保険法第1条(目的)、第2条(介護保険)	自立した日常生活、国民の共同連帯、利用者主体、医療連携、介護の社会化
3	医療保険者、年金保険者の事務責務	介護給付費・地域支援事業支援納付金、特定疾病の基準への助言、介護保険事業への協力、第2号被保険者の特別徴収、介護保険事業への一部補助
4	保険事故	第1号被保険者と第2号被保険者の要介護原因
5	住所地特例	養護老人ホーム、介護医療院、認知症対応型共同生活介護、地域密着型介護老人福祉施設、有料老人ホーム
6	被保険者資格	第1号被保険者の資格取得時期、医療保険と生活保護と第2号被保険者、海外長期滞在日本国籍者と第1号被験者、医療保険未加入者と第1号被保険者、刑事施設拘禁者
7	現物給付	居宅介護福祉用具購入、施設介護サービス費、居宅介護住宅改修費、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費
8	指定介護予防支援事業者	運営基準違反と監督者、管理者要件、事業所要件、計画への住民自発型サービス位置づけ、委託と地域包括運営協議会
9	指定介護老人福祉施設	入所定員、設置法人、サービス提供根拠、条例、管理者要件
10	都道府県介護保険事業支援計画	介護サービスの情報公表、地域支援事業の量、認知症対応型共同生活介護必要定員総数、介護保険施設の種類ごとの必要入所定員総数、介護専用型特定施設入居者生活介護必要利用定員総数
11	介護保険財政	第1号被保険料率の算定間隔、介護保険事業事務費財源、市町村特別給付財源、財政安定化基金、調整交付金
12	保険料	平均保険料率、所得段階別、市町村格差、事業主負担、生活保護者の保険料支払い方法
13	地域支援事業	生活支援体制整備事業、介護予防・日常生活支援総合事業の財源、包括的支援事業委託先、一般介護予防事業内容
14	審査請求	合議体の委員、審査請求対象、指揮監督者、専門調査員資格
15	介護サービス情報の公表制度	国保連の業務、介護サービス情報の報告先、公表内容
16	要介護者及び要支援者の定義	要介護・要支援状態の原因、常時介護を要する期間、要介護・要支援状態を定めている法令
17	要介護認定調査(基本調査)	点滴管理、徘徊、買物、外出頻度、身体障害者程度等級
18	介護認定審査会	委員要件、委員定数、任命権、共同設置、意見聴取者
19	介護保険料	先取特権、消滅時効、滞納による資格喪失、滞納者への命令、督促の時効中断
20	介護予防サービス計画作成	計画作成者、記載内容、アセスメント内容
21	施設サービス計画の課題分析	課題分析標準項目内容(介護力、認知、認定情報)、アセスメント担当者、独自アセスメント
22	指定居宅介護支援のモニタリング	モニタリング内容(実施状況)、個別サービスとの整合性、目標達成度、課題変化、サービス事業者の第三者評価)

23	指定居宅介護支援等事業の人員・運営基準第13条	医療サービス利用に伴う主治医意見、アセスメントと自宅訪問面接、利用者希望とサービス担当者会議、住民自発サービスと計画への位置づけ、モニタリング頻度
24	事例	老々世帯、片麻痺、遠距離キーパーソン、入浴困難、介護支援専門員の対応
25	事例	母子世帯、アルツハイマー型認知症、迷子、介護支援専門員の対応
医療分野		
	テーマ	ポイント・キーワード
26	高齢者に多い症状・疾患	加齢性黄斑変性、めまい、感音性難聴、心房細動、薬剤数と副作用リスク
27	てんかん	再発率、発作時の対応、症状、原因疾患、治療法
28	認知症	中核症状、BPSD 悪化要因、措置入院の手続き、若年性認知症者の自立支援医療、認知症初期集中支援チーム内容
29	皮膚疾患	薬疹の原因、寝たきり関節拘縮者への寝具、皮脂欠乏症者へのタオル、白癬者との共用生活用品、脂漏性湿疹者の薬剤
30	総論	喫煙の疾患リスク、健康日本 21 の目標、老年期うつ病と自死、老年発症型アルコール依存症の原因・症状
31	検査	ヘモグロビン A1c の値、左右の血圧差と原因、ノロウイルスの症状、CRP 高値の原因、24 時間心電図検査方法
32	薬剤	ドーパミン製剤、腎機能低下と副作用、胃ろう注入薬剤、OD 錠、内服状況
33	総論	胃ろうと入浴、終末期と口腔ケア、膀胱留置カテーテルと膀胱洗浄頻度、糖尿病と低血糖、認知症治療薬種類
34	在宅医療	インスリン自己注射効果、麻薬投与経路、人工透析の血圧測定、侵襲的陽圧喚起法による人工呼吸、酸素マスクによる在宅酸素療法
35	総論	自己腹膜灌流法と通院回数、終末期とリハビリテーション、気管切開と発声、慢性閉塞性肺疾患とインフルエンザ予防接種、在宅酸素療法の導入方法
36	転倒	再転倒の可能性、向精神薬の使用、頭部打撲と経過観察期間、性別と骨折、転倒原因
37	リハビリテーション	通所リハビリテーション計画の作成者、回復期リハビリテーションの目的、指定訪問リハビリテーションの内容、変形性膝関節症のリスク、半空間失認に対するリハビリテーション
38	排泄	腹圧性尿失禁への訓練、便失禁への対応、ポータブルトイレの選択方法、機能性失禁への対応、排便コントロールへの対応
39	災害対応	福祉避難所対象者、個人情報取り扱い、生活不活発病、エコノミークラス症候群予防、電源を必要とする医療器具使用者の停電時対応
40	総論	がんの発症頻度、死前喘鳴と姿勢、下顎呼吸、呼吸困難や疼痛に対する苦痛の緩和、高齢者のがんに対する治療
41	訪問看護	真皮褥瘡と医療保険により訪問看護回数、介護保険による訪問看護疾患別分類、訪問看護内容、看護職員定数、緊急時訪問看護加算算定要件
42	総論	看取り支援者、家族に対する看取り教育内容、後方支援病院、診察後 24 時間内死亡と死亡診断書、死亡診断書の死亡時刻
43	居宅療養管理指導	交通費の扱い、指定保険医療機関の居宅サービス事業者指定、薬剤師の居宅療養管理指導と情報提供・薬学的管理指導計画、管理栄養士・歯科衛生士と居宅療養管理指導
44	介護保険施設	事故発生時の対応、介護医療院の利用対象・配置職種、介護老人保健施設の緊急時施設療養費・感染症等の委員会

45	介護保険施設の栄養マネジメント	管理栄養士の配置基準、栄養マネジメントの内容、低栄養状態者のモニタリング頻度・内容
福祉分野		
	テーマ	ポイント・キーワード
46	面接場面のコミュニケーション	波長合わせ、多様な表現方法、予備的共感、クローズドクエスション、励まし・明確化・要約
47	インテーク面接	回数、観察、助言提案、情報収集の順番、クライアントの理解
48	支援困難事例へのソーシャルワーク視点	多職種の対応、アウトリーチの対象、支援中止要件、社会資源開発
49	地域援助技術	虐待家族への面談、地域開発、生活相談員のグループ活動、認知症サポーター養成、ボランティア組織化
50	短期入所生活介護	20人未満併設型の介護職員要件、利用要件、緊急やむを得ない場合の利用、短期入所生活介護計画要件、緊急短期入所受け入れ加算と認知症行動・心理症状緊急対応加算の算定要件
51	福祉用具	貸与種目と要介護状態区分、福祉用具専門相談員の配置基準、特定福祉用具販売計画作成要件、自動排泄処理装置の交換可能部品の扱い、設置工事を伴うスロープの扱い
52	訪問介護	訪問介護計画の作成要件、管理者の業務、居宅介護支援事業所との連携、緊急時訪問介護加算の算定要件、事故発生時の連絡先
53	通所介護	通所介護計画の取り扱い、通所介護計画の作成者、延長加算の算定要件、若年性認知症患者受け入れ加算、提供時間数の不統一の可否
54	訪問入浴介護	全身入浴困難時の取り扱い、病状急変時の医師連絡タイミング、浴槽消毒タイミング、管理者要件、サービスの自己評価
55	認知症対応型通所介護	他市町村指定申し出の取り扱い、サービス提供時間要件、一般通所の同一事業所同一時間帯の利用可否、具体的サービス内容(機能訓練)、原因疾患(急性)による利用対象、
56	認知症対応型共同生活介護	居室の複数利用、非常災害対策の扱い、従業員以外の介護可否、管理者要件、計画作成者要件
57	指定介護老人福祉施設	介護支援専門員の配置要件、看護職員の配置要件、医務室の取り扱い、入所者入院中のベッド確保期間、従業者以外の介護可否
58	障害者総合支援法	自立支援医療費、介護給付費等と障害程度区分、障害者の範囲、成年後見制度利用支援事業、行動援護の支給区分
59	生活保護制度	医療扶助と給付方法、介護施設入所者基本生活費と扶助種別、生活保護の支給単位、補足性の原理、急迫した状況時の保護扱い
60	後期高齢者医療制度	後期高齢者医療給付の内容、一部負担割合と所得、被保険者要件、運営主体

❖❖2019年第22回試験の出題について

《介護支援分野》

今年の出題は、定番となっている

- ①直近の制度改正の内容、たとえば「介護医療院」や「共生型サービス」、「3割負担」
- ②近年継続して出題されている「法の条文内容」
- ③居宅介護支援事業に係る「人員・設備・運営基準」
- ④法律の理解に伴う「保険料」「市町村事業計画」「調整交付金」「介護保険審査会の審査請求」
- ⑤「要介護認定に関連する内容」
- ⑥事例問題

のうち、③④⑤の内容が比較的多く出題され定番と言えます。しかし、内容は広範囲で、基本的な理解が必要なものから詳細な理解が必要なものまでローテーション的に出題され、ポイントが絞りにくい傾向でした。

《保健医療・福祉分野》

保健医療分野では、介護報酬改定に関連した摂食嚥下機能や口腔ケアに関する出題がありました。救急処置（対応）に関連した出題もあり、看取りを見据えた出題と考えられます。インフォームド・コンセントやアドバンス・ケア・プランニングなど、利用者の意思確認に関する出題も目立ちました。感染症に関連する出題はここ数年頻出です。医療的ケア依存度が高い利用者が在宅で生活するための制度や、施設等に関連した問題が出題されていました。

福祉分野では、面接場面におけるコミュニケーション技術、ソーシャルワークにおける援助種別に関する問題が頻出傾向です。介護保険サービスに関する出題は、「加算」に関する出題が目立ちました。生活保護法、成年後見制度は他法理解として定番で、基本的な内容を問うものでした。

❖❖出題内容とポイント（2019年第22回）		
介護支援分野		
	テーマ	ポイント・キーワード
1	2017(平成29)年介護保険法改正	介護医療院、共生型サービス、3割負担
2	介護保険法第2条	医療連携(第2条第2項)、能力に応じた自立(第2条第4項)
3	65歳以上の介護保険適用除外者	生活保護法に規定される救護施設・更生施設、障害者支援施設と給付内容及び対象障害者、老人福祉法の軽費老人ホーム
4	特定疾病	筋萎縮性側索硬化症、黄色靭帯骨化症、心筋梗塞、脊柱管狭窄症、閉塞性動脈硬化症
5	指定居宅サービス事業所の指定	共生型サービス、更新、指定権者、都道府県介護保険支援計画
6	指定居宅介護支援事業所	認定審査会記載意見の取り扱い、サービス提供拒否要件、管理者要件、交通費の受領要件、介護支援専門員の配置要件
7	介護支援専門員の義務	介護保険事業運営との関係、守秘義務、特定サービス偏重、認知症施策推進、名義貸し
8	市町村介護保険事業計画	都道府県知事の基本方針、市町村老人福祉計画、市町村地域支援計画、介護サービス情報公表、変更時の届出先
9	1号被保険者の保険料	保険料率、徴収方法(普通・特別)、保険料減免
10	調整交付金	交付方法、交付要件、交付率など
11	社会保険診療報酬支払基金の介護保険業務内容	交付・徴収、苦情対応、委託
12	地域支援事業の包括的支援事業	生活支援体制整備事業、介護予防把握事業、認知症総合支援事業、介護給付等費用適正化事業、在宅医療・介護連携推進事業
13	介護サービス情報に係る事業者報告	報告先、罰則、報告時期、報告内容

14	介護保険審査会への審査請求	被保険者証交付、市町村特別給付、国保連介護報酬請求、特定入所者介護サービス費請求、介護給付費・地域支援事業支援納付金
15	指定居宅介護支援業務	アセスメント部分、要介護認定前のサービス提供、地域社会資源への介入、訪問看護と利用者同意、居宅介護支援開始前の複数サービス事業者紹介
16	介護支援専門員の基本姿勢	利用者の状態像とサービスのすすめ方、自己決定、意思表示と尊厳保持、公正中立、利用者主体
17	課題分析標準項目	資産、コミュニケーション、改善/維持可能性、課題分析理由、口腔機能
18	指定介護老人福祉施設の施設サービス計画	アセスメント方法、入所者の同意、モニタリング、住民参加、交付先
19	第1号介護予防支援事業の実施	委託、利用者居住地域との関係、サービス担当者会議の要否、モニタリングの要否、対象者
20	指定介護予防支援	目標志向型、管理者の兼務、苦情受付、連絡調整、地域ケア会議への協力
21	要介護認定申請代行	申請代行機関の理解
22	要介護認定調査	調査拒否者、委託先、遠隔地居住者申請時の扱い
23	要介護認定	更新認定申請日、新規認定効力日、介護認定審査会のサービス指定、要介護認定処分日程通知、新規認定有効期間
24	介護支援専門員の対応(事例)	独居男性高齢者の事例
25	介護支援専門員の対応(事例)	老々世帯の認知症介護負担事例
医療分野		
	テーマ	ポイント・キーワード
26	呼吸	高齢者の換気量、頻呼吸、心不全による呼吸困難、下顎呼吸と疾患、チェーンストークス呼吸
27	食事	嚥下プロセス(先行期・咽頭期)、食事の介護アセスメント
28	睡眠	熟睡睡眠、早朝覚醒、かゆみと睡眠障害、薬剤副作用、覚醒と排便リズム
29	口腔機能と口腔ケア	摂食・嚥下、中枢神経・抹消神経、嚥下反射、咀嚼機能、粘膜上皮細胞、義歯清掃
30	認知症	抗精神薬とアパシー、若年性認知症コーディネーター、長谷川式認知症スケール、MMSE、レビー小体型認知症と幻視
31	疾患特徴(総論)	フレイル、高次機能障害、心筋梗塞、糖尿病、高齢者の骨折部位
32	高齢者の特徴(総論)	救急車相談窓口、介護職員の喀痰吸引、高齢者の疾患特徴、薬剤の副作用、一時救命処置
33	急変時対応	心肺蘇生、出血量、頸椎損傷、やけど、窒息、腹部突き上げ法(ハイムリック法)
34	在宅医療管理	腹膜透析、ストーマ、在宅経管栄養法、在宅酸素療法、在宅中心静脈栄養法
35	老年期うつ病	自律神経症状、脳器質的疾患、喪失体験、自殺企図、認知症
36	バイタルサイン	体温計、脈の結滞、血圧測定、呼吸数、パルスオキシメータ
37	検査	血清グロブリン、圧迫骨折とBMI、血中尿素窒素、ホルダー心電図、C反応性たんぱく質
38	総論	インフォームド・コンセント、医療介護入退院連携、リロケーションダメージ、入院時情報連携加算
39	感染症	標準予防策、インフルエンザと治療証明書、飛沫感染、ノロウイルス、肺炎球菌ワクチン
40	高齢者の疾患特徴	慢性疾患、加齢に伴う個人差、複数疾患、社会的要因、非定型
41	アドバンス・ケア・プランニング(ACP)	基本的な理解
42	指定短期入所療養介護	利用理由、医療ニーズ、提供施設、種別
43	指定看護小規模多機能型居宅介護	医師の指示書、運営方針、医療介護連携、提供サービス、併用可能サービス

44	医師の居宅療養管理指導	計画性、交通費授受、区分支給限度基準額の要否、指定要件、情報提供方法
45	介護医療院	基本的な理解
福祉分野		
	テーマ	ポイント・キーワード
46	面接場面のコミュニケーション	共感、投影、沈黙、クローズドクエスチョン、直面化
47	ソーシャルワーク	ラポール、アセスメント、援助計画、事後評価、スーパービジョン
48	個別援助	成年後見制度、レクリエーション活動、家族介護者相談、認知症サポーター養成、災害ボランティアセンター
49	地域援助	地域アセスメント、チームアプローチ、アウトリーチ、地域ネットワーク、サービスアクセス
50	訪問介護	医行為、生活援助、身体介護
51	通所介護	中重度者ケア体制加算、生活機能向上連携加算、入浴介助加算、生活相談員配置等加算、栄養改善加算
52	訪問入浴介護	サービス提供体制、対象者、急変時対応、協力医療機関
53	短期入所生活介護	認知症行動・心理症状緊急対応加算、若年性認知症利用者受入加算、医療連携強化加算、在宅中重度者受入加算、療養食加算、共生型短期入所生活介護と夜勤職員配置加算、緊急短期入所受入加算
54	住宅改修	転居前後算定、リフト工事、扉の取り換えに伴う壁柱改修、ポータブルトイレ、要介護3段階変更
55	認知症対応型通所介護	機能訓練指導員、認知症対応型共同生活介護の通所定員、サービス提供方法の説明内容、利用者同意、運営推進会議
56	夜間対応型訪問介護	利用料、合鍵管理、随時訪問サービス、居宅サービス変更と夜間対応型訪問介護計画、面接相談員の資格
57	指定介護老人福祉施設	やむを得ない事由、感染症など対策委員会頻度、サービス計画記録の保存期限、広告、保清頻度
58	生活困窮者自立支援制度	成立過程、対象者、必須・任意事業
59	生活保護制度	保護単位、介護扶助、生業扶助
60	成年後見制度	利用促進法の内容、市町村長申し立て、後見人選任者、任意後見契約と公正証書

❖❖出題内容とポイント（2018年第21回）

介護支援分野		
	テーマ	ポイント・キーワード
1	介護保険法第1条	法の目的
2	認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)	7つの柱(若年性認知症、介護者支援、やさしい地域づくり推進)
3	介護医療院	基準内容全般についての理解
4	国または地方公共団体の事務または責務	第2号被保険者負担率、医療・住居施策、居宅介護支援事業所の指定権
5	被保険者資格の得喪	転出、死亡、医療保険喪失、障害者支援施設から介護保険施設への移行時の保険者
6	介護保険給付	第三者行為求償、住宅改修に関する指導権者、不正受給と徴収金、保険給付の消滅時効、被保険者証の提示
7	支給限度基準額	福祉用具貸与・購入費、居宅管理療養指導、転居時の住宅改修、地域密着型サービス
8	地域密着型サービス	看護小規模多機能型居宅介護と公募指定、定期巡回・随時対応型訪問介護事業所とオペレーター、指定療養型通所介護事業所の利用定員、小規模多機能型居宅介護の通い・宿泊サービスの定員超過、認知症対応型共同生活介護の設備基準内容
9	共生型居宅サービス	指定の要件、指定種別について
10	第1号被保険料の普通徴収	賦課期日指定権限、連帯納付義務者、納期指定権限、納付委託機関、徴収方法の選択可否
11	介護給付の公費負担	国・都道府県・市町村の負担割合・負担方法、調整交付金、一般会計
12	財政安定化基金	財源の負担割合、基金事業交付時期、基金事業交付額、基金事業貸付金償還期限、基金事業貸付金の利子取り扱い
13	在宅医療・介護連携推進事業	市町村実施内容(地域住民への啓発、医療・介護関係者の研修、地域の医療・介護資源の把握)
14	介護サービスの情報公表	介護サービス提供開始時に都道府県知事に報告すべき情報(運営に関する方針、従事者に関する事項、苦情に関する窓口状況)
15	国民健康保険団体連合会業務	請求業務、第三者行為求償事務、介護保険施設運営
16	指定居宅介護支援事業の人員・運営基準	第1条の2基本方針に定められる事項(指定特定相談支援事業との連携、保健医療・福祉サービスの総合的な提供、公正中立性)
17	居宅サービス計画作成	サービス担当者会議記録の交付、計画同意、利用者・保険者への交付・提出要否、訪問介護計画提出依頼
18	指定介護予防支援事業者担当職員業務	サービス提供の報告頻度、アセスメント方法、目標達成状況評価
19	指定介護老人福祉施設の身体拘束	実施時の手続き、委員会の開催頻度、定期的な研修会・指針整備の要否
20	要介護認定	医師・介護認定審査会の意見や審査判定結果の通知先、要介護認定等基準時間及び推計方法の決め方
21	要介護認定	要介護認定調査項目、要介護認定等基準時間算定の合算対象
22	介護認定審査会	介護認定審査会の役割・権限の理解
23	介護保険と他制度	障害者総合支援法、労働者災害補償保険法、高額医療合算介護サービス費、医療扶助
24	介護支援専門員の対応(事例)	在宅で自立支援に向けた事例
25	介護支援専門員の対応(事例)	家族同居と訪問介護の家事援助事例
医療分野		
	テーマ	ポイント・キーワード
26	高齢者に多い症状・疾患	疾患・症状の理解(パーキンソン病、狭心症、褥瘡、疥癬、肝不全)
27	総論(災害避難)	エコノミークラス症候群、福祉避難所、介護老人保健施設と災害計画、生活不活発病

28	感染症と感染経路	結核、疥癬、インフルエンザ、腸管出血性大腸菌感染症、流行性耳下腺炎、空気感染、飛沫感染、接触感染
29	総論(検査値)	腹囲、血清アルブミン値、血中尿素窒素(BNU)、白血球数、AST(GOT)
30	バイタルサイン	意識レベル、発熱、徐脈、起立性低血圧
31	高齢者に多い症状・疾患	フレイル、機能性尿失禁、急性緑内障発作、慢性腎不全、糖尿病
32	認知症	レビー小体型認知症、うつ状態、せん妄、認知症初期集中支援チーム
33	在宅医療機器使用時の留意点	腹膜透析、在宅中心静脈栄養法、在宅経管栄養法、気管切開による人工呼吸療法、在宅酸素療法
34	総論(生活習慣)	BMI、喫煙、飲酒、運動、ヒップ・プロテクター
35	在宅の呼吸管理	ネブライザー、在宅酸素療法、人工呼吸器、痰の吸引器
36	総論	低栄養、介護保険と栄養ケア計画、栄養マネジメント加算、味覚低下、認知症高齢者の食事介護
37	在宅の医療管理	インスリン自己注射、人工透析、疼痛、人工呼吸器とパルスオキシメーター、酸素飽和度、在宅自己導尿、膀胱留置カテーテル
38	急変時対応	ジャパン・コーマ・スケール(JCS)、心不全による呼吸困難、心筋梗塞の痛み、寝たきり高齢者の嘔吐、発熱
39	死亡診断書	交付できる有資格者(医師・歯科医師)の理解
40	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	利用対象者、目的、苦情処理体制の理解
41	訪問看護	主治医の指示、リハビリ専門職の訪問看護提供、訪問看護内容、介護保険と健康保険の優先順位、
42	看護小規模多機能型居宅介護	サービスの機能、指定申請先、利用対象者、管理者要件、訪問体制強化加算
43	通所リハビリテーション	主治医の関わり、利用対象者、目的、リハビリテーションマネジメント加算、人員基準
44	介護医療院	利用対象者、サービスの機能、介護療養型医療施設との関連、設備基準
45	介護老人保健施設	法人種別と協力病院、介護老人保健施設の種別、入所者不正給付時の通知先、感染症または食中毒関係委員会の開催頻度、リハビリテーションの提供方法
福祉分野		
	テーマ	ポイント・キーワード
46	面接場面のコミュニケーション	質問方法、コミュニケーション手段、傾聴、励まし、明確化、要約、表情、抑揚、早さ
47	インテーク面接	インテーク面接の内容、回数、面接環境、内容記録
48	集団援助	個別援助、地域援助との違いの理解
49	地域援助	個別援助、集団援助との違いの理解
50	短期入所生活介護	緊急短期入所受入加算、認知症行動・心理症状緊急対応加算、医療連携強化加算、送迎加算、認知症専門ケア加算
51	福祉用具貸与	住宅改修、福祉用具購入、福祉用具貸与対象の違いの理解
52	訪問介護	同一敷地内対象者提供、医療行為、緊急時訪問、サービス提供責任者要件、新規利用者へのサービス提供責任者同行時の加算
53	通所介護	介護報酬、人員配置、提供サービスによる届け出要件、災害時備品の備え
54	訪問入浴介護	人員・設備基準、併用できるサービス、介護報酬、減算理由
55	夜間対応型訪問介護	24時間通報対応加算、人員基準、苦情対応、併用できるサービス
56	小規模多機能型居宅介護	減算理由、人員・運営基準、看取り体制連携加算
57	介護老人福祉施設	人員基準(介護支援専門員、看護職員、栄養士、生活相談員、機能訓練指導員)
58	成年後見制度	任意後見監督人の選任権者、後見開始審判請求者、法にもとづく成年後見制度の基本理念
59	生活保護制度	介護扶助の給付方法、生活保護の申請者、住宅扶助内容、保険料の徴収方法
60	後期高齢者医療制度	運営主体、被保険者、負担割合、診療報酬、住所地特例

❖❖出題内容とポイント（2017年第20回）

介護支援分野

	テーマ	ポイント・キーワード
1	介護保険法第4条	国民の努力および義務
2	介護保険の保険給付	被保険者と給付額の経年変化、介護給付サービス種別の変化、第1号被保険者1人当たりの都道府県給付費の差、要介護認定者の保険給付実態、保険給付から地域支援事業への移行サービス
3	2014（平成26）年制度改正内容	指定介護老人福祉施設の入所要件、地域ケア会議の位置づけ、予防給付内容、介護予防ケアマネジメントの利用者負担、生活支援コーディネーター
4	第2号被保険者	被保険者証の交付時期、生活保護受給者の介護保険料納付義務、資格喪失時期、事業主負担
5	保険給付	各種サービス費の支給区分（介護給付または市町村特別給付）の理解
6	要介護状態区分によって異なるサービス費	指定居宅介護支援および指定居宅サービス費
7	高額介護サービス費	第1号被保険者である生活保護受給者、居宅要支援被保険者、施設サービスの食費・居住費、負担上限額と所得
8	指定居宅介護支援事業者（人員・設備・運営基準）	介護扶助による居宅サービス計画作成者、配置職種、管理者の兼務など
9	指定居宅介護支援事業者の指定取り消し・効力停止（人員・設備・運営基準）	条例に定める員数、地域ケア会議への協力、虚偽報告、地域包括支援センターとの関係、要介護認定調査の受託拒否
10	指定介護予防支援事業者（人員・設備・運営基準）	管理者の兼務、配置職種、アセスメント担当者、会議スペース、身分証
11	指定介護予防支援	支援領域、地域支援事業との関係、モニタリングなど
12	市町村介護保険事業計画	都道府県介護保険支援計画との違いの理解
13	第1号被保険者の保険料滞納者への措置	措置内容と特別な事情の理解
14	介護保険審査会への審査請求	介護保険法第183条の内容の理解
15	居宅サービス計画原案の作成	作成プロセスとその内容についての理解
16	課題分析標準項目	課題分析標準23項目の理解
17	居宅サービス計画作成	利用者を主体とした作成プロセスの理解
18	サービス担当者会議	招集職種、開催頻度、参加者、記録保存期間
19	指定居宅介護支援等の事業の基準（人員・設備・運営基準）	基本方針についての理解
20	生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の6つの機能の理解
21	指定居宅介護支援事業者と地域ケア会議（人員・設備・運営基準）	地域ケア会議から求めがあった場合に規定されている協力内容
22	指定介護老人福祉施設（人員・設備・運営基準）	情報提供、計画作成担当者、配置人員、入浴回数など
23	要介護認定	要介護認定等基準時間に含まれる内容、主治医意見書に記載される内容
24	介護認定審査会	参加者、委員、意見聴取対象者など
25	介護支援専門員の対応（事例）	ペットの世話を題材とした、訪問介護の不適切事例

保健医療分野

	テーマ	ポイント・キーワード
26	検査	各種検査値の基準など
27	高齢者に多い疾病	疾患の特徴の理解（関節リウマチ、脊椎管狭窄症、大腿骨頸部骨折、加齢黄斑変性症、ノルウェー疥癬）

28	循環器	循環器疾患の特徴（心筋梗塞、心房細動、不整脈、起立性低血圧）
29	呼吸器疾患	疾患の特徴（急性上気道炎、誤嚥性肺炎、慢性閉塞性肺疾患（COPD））と治療・予防法
30	神経難病	疾患の特徴（筋委縮性側索硬化症(ALS)、パーキンソン病、進行性核上性麻痺）
31	認知症	原因疾患と症状の特徴など（BPSD、血管性認知症、レビー小体型認知症、アルツハイマー型認知症、慢性硬膜下血腫）
32	精神疾患	疾患の特徴（老年期うつ病、せん妄、統合失調症）
33	感染予防	各種感染症とその予防法など（スタンダード・プリコーション、ノロウイルス、水痘、麻疹、風疹、B型肝炎、インフルエンザ、肺炎球菌）
34	褥瘡	特徴とケア内容（体位交換、発生因子、保清、感染、リスクアセスメント）
35	総論	在宅自己注射、高齢者の肺炎の特徴、脳梗塞予防、インフルエンザ予防接種対象者、敗血症の症状
36	在宅医療管理	ストーマと入浴、疼痛と自動注入ポンプ、在宅中心静脈栄養法と経口摂取、血液透析と血圧測定、胃ろうとカテーテル
37	在宅酸素療法	使い方と諸注意（医師の指示、鼻腔カニューレ、呼吸同調型酸素供給装置）
38	高齢者のリハビリテーション	特徴の理解（安静臥床の弊害、半側空間失認、リスク管理、福祉用具、回復期リハビリテーション）
39	短期入所療養介護	療養管理、基準や報酬、各種加算の理解
40	介護老人保健施設	医療保険との関係、報酬、各種加算
41	高齢者の疾患	総論的な理解（症状の非定型、老年症候群、社会的要因）
42	ターミナルケア	サービス種別とターミナルケア、老人保健施設と医療保険、グリーフケア
43	服薬管理	総論的な理解（お薬手帳、薬学的管理指導）
44	訪問看護	他サービスとの併用、機能、開設者、特別指示書、各種加算
45	総論	介護予防訪問看護の位置づけ、居宅療養管理指導実施者、看護小規模多機能型居宅介護、介護予防訪問リハビリテーション
福祉分野		
	テーマ	ポイント・キーワード
46	インテーク面接	インテーク面接の過程や留意点の理解
47	ソーシャルワーク	ソーシャルワークの基本的理解
48	メゾ・ソーシャルワーク	メゾ・ソーシャルワーク(集団援助)の基本的理解
49	マクロ・ソーシャルワーク	マクロ・ソーシャルワークの展開方法の理解
50	短期入所生活介護	人員基準および加算内容
51	住宅改修	住宅改修の適用範囲の理解
52	通所介護	人員基準の理解
53	訪問介護	生活援助と身体介護の援助内容の理解
54	訪問入浴介護	基準内容全般についての理解
55	認知症対応型通所介護	基準内容全般についての理解
56	地域密着型通所介護	基準内容全般についての理解
57	介護老人福祉施設	基準内容全般についての理解
58	成年後見制度	後見類型、代理権、取消権、法人後見などの理解
59	障害者総合支援法および介護保険法	優先法律の理解、成年後見制度利用支援事業の各法での取り扱い
60	高齢者虐待防止	虐待種別、身体拘束の理解

❖❖出題内容とポイント（2016年第19回）

介護支援分野

	テーマ	ポイント・キーワード
1	介護保険法第1条第2条	介護保険法の目的と趣旨の理解
2	介護保険法第8条	居宅サービスにおける居宅介護支援の内容
3	地域包括支援センター	地域包括支援センターの設置主体
4	包括的支援事業	包括的支援事業のうち地域包括支援センター以外に委託できる事業
5	審査請求	審査請求の審査対象内容
6	住所地特例	住所地特例の対象者、対象施設、対象サービス
7	地域包括支援センターの業務	地域包括支援センターで担う包括的支援事業ほかの業務
8	社会福祉法人による利用者負担額軽減制度	社会福祉法人による利用者負担額軽減制度の対象居宅介護サービス
9	居宅サービス	要介護認定申請代行、事業所指定更新、居宅サービス種別
10	介護保険施設	開設許可、人員基準、第三者評価、都道府県条例
11	地域ケア会議	地域ケア会議が担う機能
12	介護保険の被保険者	被保険者要件(医療保険、生活保護、住所)、資格取得時期、適用除外施設
13	指定地域密着型サービス事業者	人員基準、公募指定、条例で定める基準等
14	要介護認定、要支援認定の有効期間	区分変更と新規申請の期間
15	要介護認定の広域実施目的	介護認定審査会委員の確保、審査判定の公平化、事務の効率化など
16	要介護認定に係る主治医意見書	医学的管理の必要性の11項目の内容
17	要介護認定に係る主治医意見書	サービス提供時における医学的観点からの留意事項6項目の内容
18	介護予防基本チェックリスト	質問25項目の内容
19	居宅介護支援におけるモニタリング	地域ケア会議や地域包括支援センター、課題整理総括表との関係、記録の保存期間
20	介護予防サービス・支援計画書作成	アセスメント4領域の内容
21	指定介護老人福祉施設の施設サービス計画	記載内容、サービス担当者会議との関係、交付先、モニタリング頻度
22	サービス担当者会議	出席者、開催時期と要件、サービス計画種別ごとの特徴
23	居宅介護支援のアセスメント	委託先とその方法、評価内容
24	居宅介護支援の開始	開始時期や開始時の支援内容
25	事例(介護支援専門員の対応)	認知症高齢者の避難先での対応

保健医療分野

	テーマ	ポイント・キーワード
26	高齢者に多い症状・疾患	難聴、薬剤と副作用、心房細動、めまい、加齢黄斑変性
27	高齢者の症状	不明熱、心室性期外収縮、血圧
28	検査	各検査項目の特徴
29	呼吸状態	症状による特徴
30	消化・吸収	薬剤と副作用、口渇、嚥下障害、経口維持加算、吸収機能
31	皮膚疾患	各種皮膚疾患に対する感染経路や原因、薬剤
32	在宅医療管理	在宅の各種医療管理に対する留意事項
33	医療行為	医薬品と制度、医療器具や各種治療と留意事項
34	感染症	感染症の特徴や管理
35	緊急時と特徴	急変時の症状の理解と対応
36	医療的ケア	医療器具の利用方法、観察点、症状の原因
37	薬剤	薬剤の特徴についての理解
38	訪問看護	対象や指示書、加算、業務内容の理解

39	短期入所療養介護	ケアや診療内容と各種加算
40	介護老人保健施設	人員基準や加算の理解
41	高齢者の特性	老年症候群、せん妄、フレイル、サルコペニア、記憶の理解
42	終末期ケア	終末期ケアの理解
43	認知症	レビー小体型認知症、認知症ケアパス、若年認知症者と自立支援医療、SOS ネットワーク、正常圧水頭症
44	居宅サービス事業	連携型定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所のサービス内容、指定訪問リハビリテーションの提供者、介護予防訪問看護の対象、短期入所療養介護の介護計画作成者、通所リハビリテーション計画
45	災害対応	エコノミッククラス症候群、個人情報取り扱い、生活不活発病、人工呼吸器電源の確保、福祉避難所の対象
福祉分野		
	テーマ	ポイント・キーワード
46	ソーシャルワーク	ソーシャルワークの基本的な対応の理解
47	相談援助者の職業倫理	職業倫理に基づいた対応の理解
48	メゾ・ソーシャルワーク	メゾ・ソーシャルワーク(集団援助)の理解
49	マクロ・ソーシャルワーク	マクロ・ソーシャルワークにおける援助対象の理解
50	短期入所生活介護	基準内容と加算の理解
51	介護保険給付対象福祉用具	福祉用具専門相談員、スライディングボード、特定福祉用具販売計画、貸与対象スロープ
52	訪問介護	援助内容と加算の理解
53	通所介護	基準内容と加算の理解
54	通所介護	基準内容と加算の理解
55	認知症対応型共同生活介護	基準内容と加算の理解
56	小規模多機能型居宅介護	基準内容の理解
57	介護老人福祉施設	基準内容と加算の理解
58	生活保護	各種扶助、優先給付、扶助の委託についての理解
59	成年後見制度	家庭裁判所の役割、審判請求手続き、市町村の役割、任意後見人の理解
60	後期高齢者医療制度	保険料の設定者、被保険者、生活保護との関係、一部負担割合、高額療養費、高額介護合算療養費